

全 市	深 川	本 所	淺 草	下 谷
四七〇	〇四四	〇三八	〇三一	〇三〇
一二九 牛込區若松町	二相 川 町	一三 元町(兩國橋詰)	二三 諏 訪 町	六七 上野公園
四 深川區千田町	四 千 田 町	五 柳島梅森町	七 光 月 町	八 山 伏 町

〔紫のゆかり〕こ、なるむさしの國は、四方に山なく、いとたひらかに、うちひらきて、たてとよこと
 ひとしく、あゆみ行みちの程をもては、からば、二日三日を越べし、そのさかひは、安房、かみつふさ、
 しもつふさ、かひの國によれり、いにしへより、國のさかひひろがりて、こほりもかすまさり、今は
 はたちあまりふたつとぞなれりける、くだくしければ、其名はもらしつ、この大城、うちのへ
 とのへ、おほきなるいふべくもあらず、略中ふたへの御くるわのとよりは、市の家ゐ軒をならべ、
 いづれもくおとるまじうたてつかけたり、おほちはたてさま、よこさま、いとをひきはへたる
 がごとく、小路は星のまつへるにひとし、西北は高く、東南はひきし、高きにのぼりて、はるかにみ
 れば、家ゐはたゞ山のかさなりたるやうにて、また波のうごきたつけしきにもにたり、南は品川
 の入江近く、入つどふ舟どもに、眞帆片ほ風にまかせて、驚かもめなどのとぶかともゆ、うまやち
 の家々、かたはらは山にそひかたはらは入江にのぞみて、たかどのめくつくりさま也、内にはか
 けはしわたして深くみやらるゝに、塵打はらひすゞしげにて、がりのやどりにも心こむべきを
 うなうちむれてなまめきあひたり、にしの國いとおほければ、行かふ旅人もことにおびたゞし